



# 『ひらく』の書棚

小平市男女共同参画センター“ひらく”にある本の紹介です。本は借りることができます。



## 『路面電車を守った労働組合』

私鉄広電支部・小原保行と労働者群像

河西宏祐・著  
〈平原社〉  
2,100円＋税



広島電鉄の全契約社員の正社員化のいきさつが知りたくて探した本。

それは労働組合の広電支部で、十数年にわたった交渉の成果だった。この快挙のことは、本の後ろの方に後日談として載っている。しかし、初めから読むことをお勧めしたい。

この本が労働組合の可能性を探るための実態調査の報告書であり、中心人物だった保行さんの姿を追った物語でもあるので、「雇用を守るために職場を守る」のにどれだけのことをやり続けてきたのかを見せてくれる。また、時代背景が証言でつづられているので臨場感がある。

人は時代の流れの中で生きるしかない。個人が差別なく生きられるよう闘うために、闘いながら組織として実力を付けていって更に闘うのである。表題にある路面電車を守った時には、15年程掛かっている。諦めることはないのだと思った。

## 『つばられなご暮らひ』

井形慶子・著  
〈株式会社経出版〉  
571円＋税



著者は、仕事や旅行でイギリスを訪ねるうちに、個人的で自らの暮らしを楽しむ人たちから何ものにもとられない暮らし方のヒントを得た。お金やモノが無くて、人生を豊かに生きる暮らしの知恵が詰まっている本。

## 『TOKYO 油田物語 天ぷら油』

まわりまわって世界を変える

染谷ゆみ・著  
〈葉社〉  
1,590円＋税



著者は、天ぷら油の燃料化に成功した女性起業家。本書は、20代女性社長の挫折と成功の物語であると同時に、環境ビジネス本、コミュニティビジネス成功譚とも読める。

印象深いのは、著者の姿勢だ。環境問題のように、一見個人ではどうにもならない大きなことを自分の問題として捉え、解決策を探る。周囲を巻き込み共感を得ながら着実に社会変革を果たす。様々な社会問題は他人事ではなく、自分事。その主体性に男女共同参画の真髄を見た。

## 『パパと怒り鬼』話してごらん、だれかにー』

グロー・ダレレ・作  
スヴァイン・ニーフース・絵  
大島かおり／青木順子・共訳  
〈ひさかたチャイルド〉  
1,890円＋税

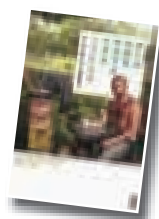


ママは言う。「こんなこと、だれにも言っちゃだめよ。わたしたちはしあわせ家族よ。」それなら、なぜパパはぶつくの？ ぼくのせい？

本書は、DV（ドメスティックバイオレンス）を子どもの視点で捉えたノルウェーの絵本。DV家庭の子どもも、救いを求めて誰かに話す権利がある。巻末には、加害者も被害者も、大人も子どもも相談できる日本の窓口が紹介されている。そう、きみは悪くない。話していいんだよ。どこかにきくと話を聞いてくれる人はいる。

## 『ぼくはお金を使わずに生きることにした』

マーク・ボイル著／吉田奈穂子訳  
〈紀伊国屋書店〉  
1,700円＋税



「この世からお金がなくなれば、どんなに幸せか？」と空想こそすれ、「生きていくにはお金は必要」と思うのが普通。しかし、実際に約1年間、全くお金を使わずに生活した人がいた！

住まいは「フリーサイクル」サイトで手に入れたトレーラーハウス。食事は以前と変わらぬビーガン（卵や乳製品も排除した純粋菜食主義）スタイル。ドラム缶で作った調理器具やキノコから紙を製作するなど、様々な工夫や知恵を紹介するコラムはもちろん、実験開始からその1年後に行われた全てフリー（無料）のパーティーの様子まで、まるで冒険小説でも読んでいられるかのようにワクワクしながら一気に読める。

全ての人が彼と同じことができるとは思わないが、「カネなし」がもたらすすローで豊かな生活には、憧れてしまう。

## 『へんじゅ』

教育をつなぐWe』

1冊 800円  
年間購読料5,000円  
年6冊・送料共



今を生きている私たちは、実に様々な私たちができているということがわかる雑誌。いつも「そうだ」と相槌を打ちながら読んでしまう。

表紙のニキ・ド・サンファルの絵がステキ。  
Tel 045-482-6711 Fax 045-482-6712  
info@femix.co.jp http://femix.co.jp/

# ひろく広場

## 原稿をお寄せください

ひろくの記事や表紙の感想、その他なんでもOKです。原稿(500字以内)には〒、住所、氏名(ふりがな、原稿掲載は匿名・イニシャル可)、年齢も書いてください。採用された原稿は文意を変えずに短くする場合があります。

あて先/小平市小川町二丁目1333番地  
小平市次世代育成部青少年男女平等課  
「ひろく広場」 FAX 042-346-9200  
byodo@city.kodaira.lg.jp



ひろく編集室はあなたにひらいています。

## メディアの原点

ウェブ上のPDFの各号、拝読しました。IT全盛時代ですから、PDFファイルで見れる、読める、というのとはとても良いアイデアだと思います。表紙も立派です。プロが撮っているのでしょうか。市民目線の記事、内容。メディアの原点を感じました。市民、住民が必要とする身近な問題の情報発信、読者との対話、これこそメディアが本来担う役割だと思えます。(英)

## 29号特集「わかちあひ」 「USINITY」を読んで

学生時代にハウスシェアをしたことがあるが、同じことをするのは難しいかもしれない。

あの頃は、違いを発見して面白く、相手に合わせることに抵抗が無かった。

あれから何十年も過ぎ、身につけたものや絡みついたものできつと頭も体も硬くなっているに違いない。「足りない毛布はみんなで使えばいい」というように、できるだけシンプルに考え、身軽に、柔軟に、どんな状況にも対応できるように心掛けたい。

一緒に食べたり飲んだり話したり、ちよつと頑張つてソーシャルネットワークワーキングシステムも駆使して、老若男女を問わず、人との交流を楽しんで生きていけると幸せかな。

いつもニコニコしてられるようなおばあちゃんを目指して。(楽楽)

## 伴走クラブに 仲間入りして

視覚障害者が走るのを支えることが伴走だと思っていた私が、伴走クラブに入って活動すると、大きく違っていたことに気が付きました。伴に走る、二人で走る、伴走の楽しさはまさに「二人より二人」なのです。練習会では、ペアの相手とその日の調子や目標距離などを話しながら準備します。実際の伴走は、1mほどのロープを輪にして二人で持ち、二人三脚の要領で走ります。脚を揃

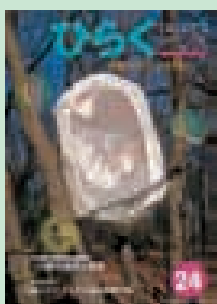
えれば腕も揃います。腕が揃えば呼吸も揃います。「息が合う」とはこのことです。一人で走るのでは得られない共鳴のような楽しさがあります。自分ひとりでは上がり切れない激坂も二人だと歩かずに走れるのが不思議です。走りながらのおしゃべりも練習の楽しみです。出身地や趣味、参加した大会、これからの目標などを話し、あつという間に時間が経ってしまいます。



マラソン大会では、二人で目標タイムを目指して走ります。苦しくなったら励まし合い、最後に達成してゴールした時の嬉しさは、一人で走るより何倍も大きいのです。

伴走は、人が支え合うことで力を得、互いを知り、より楽しく、喜びも大きくしてくれることを私に教えてくださいました。

(バンバンクラブがろあん)



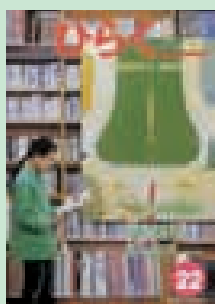
24号 H21.3

小平市男女共同参画推進  
条例7つの基本理念の意味  
父親ハンドブックと  
母子健康手帳



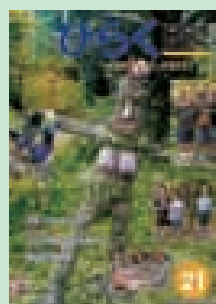
23号 H20.10

選べる夫婦のかたち



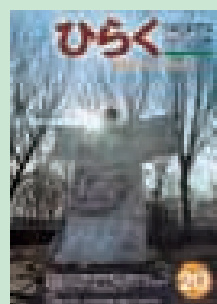
22号 H20.3

続 対等ってなんだろう?  
ものさしいろいろ



21号 H19.10

対等ってなんだろう?  
「ひとり親家庭」の  
支援制度



20号 H19.2

配偶者をあなたは、  
どう呼びたいですか?  
ご存知ですか小平市の  
取り組みPARTII



小平在住、在勤の女性を訪ねて、そのいきいきした様子や元気の素を伝えます。

## いきいきレディ28

今年は10年の節目の年  
もっともっと楽しめる  
ライブをお届けします



森 陽子さん  
(学園西町在住)

ステージではこんな艶やかな姿に変身! 衣装やメイクを考えるのも楽しみの一つだという。

◆40代半ばでの再スタート  
ジャズやポップスをレパートリーに、年に一度、国立のライブハウスで一門の方とライブを開催している森さん。歌との出会いやライブのことなど、「いきいき」の源を伺いました。

「人前で歌った記憶は小学1年か2年の頃。どちらかという人見知りするタイプでしたね」と話す森さん。そして、洋楽との出会いは中学1年の時。「英語を習い始めたことが洋楽を聴くきっかけに。当時、流行っていたポール・アンカやニール・セダカなどを聴いていました。さらに、大学では英語研究会に所属し、ピーター・ポール&マリーやジョン・バエズなどを歌っていた」と言う。しかし、その後は家事や育児など日々の忙しさに追われ、大好きな歌とは距離を置くことに。いつしか音楽を聴くことも忘れ、気が付けば40代半ばになっていたとのこと。

### ◆コーラスからソロへ ボイストレーナーとの出会い

「ふと、自分は何をしているんだろう...と。そして、何かはじめたい! という思いが強くなりましたね」と、当時を語る。ちょうどその頃、先輩に言われた「人生は一度きり、明日死ぬかも知れないのだから、好きな様に生きていいのよ」との言葉も後押しとなり、「自分の好きなこと」を探し始めることに。最初は手芸、次に朗読。それも違うと感じ、ジャズコーラスへ。コーラスよりはソロをやりたいと思い、辿り着いたのが今のボイストレーナーだったとのこと。「歌うのではなく、しゃべりなさい」と教えるボイストレーナーとのレッスンは衝撃的で:。しかし、それが私にとって本当の歌との出会いとなりました。

### ◆今年も11月23日、 国立リパブルで歌います!

それから歌い続け、今年で10年。「歌は思った以上に奥が深く、自分がそのまま出てしまうもの」。「昨年のライブでやっと自分らしくお客様に楽しんでいただくことがどういうことかが少しわかった」と謙遜する森さん。しかし、「応援してくれる家族はじめ、友人や知人、毎年来てくれる恩師のためにもっともっと楽しめるライブにしたい!」と力強く語る言葉には、紆余曲折しながらも着実に歩んできた自信に満ち溢れていた。今年のライブはきつと、よりパワフルで、素敵なステージとなるに違いない。

## いじわる

夫が脳出血で倒れた。といっても実際は倒れたわけではなく、歩いて救急車に乗り、自分の血圧が200を越えているのを知り、「それはないな」と呟きながら運ばれたのだが、それでも誰かに報告するときつい「夫が倒れた」と言うフレーズを使ってしまったために、倒れたという言葉だけが一人歩きしてしまっ

た。「一命は取り留めたようで一安心」と言うメールが来たりすると、ベッドの上で動かない右の手先を三角巾でつるしたまま、冷蔵庫を漁っている彼の姿とのギャップに絶句してしまう。ほんと、言葉ってこわい。安易に常套句を使ってしまった自分を深く反省した。

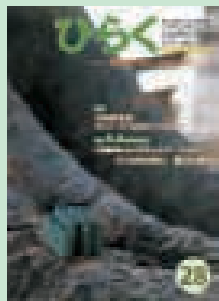


これからは、誰かに何かを報告するときは、写真的に客観的に具体的に伝えよう。うっかりすると、生死の境をさまよったことにされちゃったりするからね。(S)



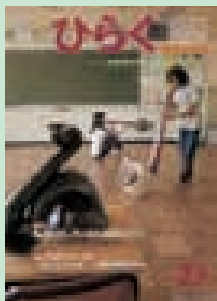
29号 H23.10

わかちあうということ



28号 H23.3

つながる力



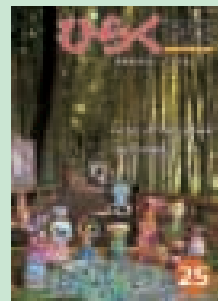
27号 H22.10

私がわたくしで  
いられる場はどこに



26号 H22.3

ひとりだって  
つながっている  
「ひとり」の味方



25号 H21.10

ひとりだって  
つながっている  
「ひとり」の味方

# ひらく 掲示板

## 表紙作品

「心地良い関係」

卯月 葉 (小平市仲町在住)

ろば ぶた あひる のんきな仲間

今日は丘の花畑

ろば ぶた あひる

みんなで何かをやってみたい

信じるものを信じるために

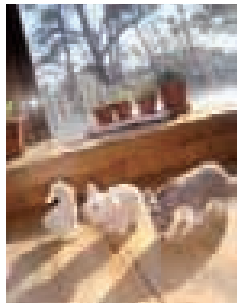
信じることを見つけるために

それでー

ぶたくんは何かが好き?  
ろばさん、悩みある?

あひるだって語っちゃうよー

ウフ おしゃべりって  
サイコー コラボだネー



撮影協力  
カフェ ラグラス(美園町)  
表紙写真 長塚 秀人

## DVD

### 『昭和を切り拓いた ろう女性からあなたへ』

発売・販売元：Lifestyles of Deaf Women  
http://rumineko2006.blog40.fc2.com/  
Studio AYA http://studioaya.com/  
¥2,700 (税・送料込)

昨年のニュージーランド地震の現地報道に手話通訳が付いていたことに気付いた人はいますか? 日本では、関東大震災の政府会見の一部にやっと手話通訳が付きまして。

先天的に聴覚障害のあるろう者は人口の1000人に一人は生まれるとされていますが、ろう者が使う手話が言語であると法律で認められたのはごく最近のことです。少し前の昭和の頃は、ろうはうつる病気だと言われたり石を投げられたりと、いじめや差別が普通にあった時代でした。ろう女性には男性社会という壁もありました。

ここに登場する女性たちが語る経験談は、当時の社会をそのまま映し出すとともに、多くの壁を「自分の生き方」で切り拓いてきた明るさと逞しさで、観る者に「共生社会」を作ろうと呼び掛けています。

手話、字幕、読み取り通訳付き。



青少年男女平等課	042-346-9618	NPO法人 子育てサポートきらら	042-321-0340
男女共同参画センター“ひらく”	042-348-2112	こだいら就職情報室	042-344-1215
女性相談	042-345-2415	中央公民館	042-341-0861
子育て相談	042-345-2416	市民活動支援センターあすぴあ	042-348-2104
子ども家庭支援センター	042-348-2100	こだいらボランティアセンター	042-346-1424
ファミリー・サポート・センター	042-348-1780	小平市シルバー人材センター	042-344-2120

小平の情報は「こ」でわかる

いちど  
来てみませんか?

小平市男女共同参画センター

ひらく

(愛称)

## 小平市男女共同参画センター

〒187-0031 小平市小川東町4-2-1

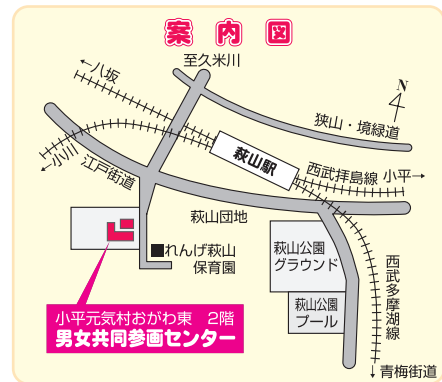
小平元気村おがわ東 2階

042-348-2112 (青少年センター兼用)

西武拝島線・西武多摩湖線 萩山駅南口より徒歩5分

※駐車場に限りがありますので、車での来館はご遠慮ください

- 開館時間 午前9時～午後10時
- 休館日 火曜日・年末年始・奇数月の第2日曜日
- 利用対象者 利用登録団体・個人
- 問合せ先 次世代育成部青少年男女平等課  
042-346-9618



小平市男女共同参画推進実行委員は、市報「こだいら」3月20日号で募集します。



行って  
みました

# カフェふわふわドリーム / CAZE CAFE

東村山生活実習所

あさやけ風の作業所

## また来たくなるカフェ

都の施設を受け継いだ社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会が建て替えを機にオープンテラス付きカフェを施設内に作り



ました。向かい側に公園があるので、子ども連れの人たちや散歩途中の人たちが立ち寄ります。メレンゲ作りが上手でみんなのまとめ役の嶋田さん、施設の大芦さんと原島さんにお話を伺いました。

「いらっしゃいませ」ウェイトレスさん、ウェイターさんの丁寧で親切な対応に嬉しくなりました。シフォンケーキや様々なクッキーがあります。丸くて高くて広い天井を見上げたり、外の花壇を眺めているうちに注文したお茶が出てきます。「ごゆっくりどうぞ」の言葉どおり、ずーっとくつろいでいたくなるどころです。若い方から年配の方まで施設の利用者が交代で働き、報酬が支払われます。

お店の名前や看板から運営まで、話し合いで決めています。よそのカフェの情報も持ち寄って話し合い、「お菓子を食べてら雲の上にいるような気持ちになってユメを持っていただけるような」お店づくりをみんなで行っているというお話でした。



おそろいのバンダナとエプロン姿で「いらっしゃいませ」

- ◆場 所: 東村山市富士見町1-5-11
- ◆電 話: 042-394-3771 FAX: 042-394-8300
- ◆営 業: 月曜日～金曜日  
10:00～11:30、13:30～16:00 (冬季は15:30)
- ★11:30～13:30は利用者の食事時間なので営業していません。

## 気持ちのいい喫茶店

CAZE CAFE (カゼカフェ) は、あさやけ風の作業所の2階テラスにあります。外のカフェなので雨天は休業です。聞こえるのは梢をゆらす風の音だけ。作業所は知的障がいと身体障がいの方の施設です。自宅やグループホームから通って、それぞれの得意分野で作業の分担をしています。手作りスコーンから始めて、細い棒状のクッキー、スティックケーキ、パウンドケーキ、食パンと作るものの幅を広げてきました。展覧会やコンサート会場として無料で貸出しもしています。

散歩の途中や“こもれびの足湯”からの帰り道に寄るお客さんが多いようです。中には通ううちにお店を手伝ったり、テラスの落ち葉掃きなどのボランティアをする方もいらっしゃるとか。施設の方たちとの交流もあるということです。

CAZE CAFE は、できてから6年が経ちます。お客さんたちから「気持ちのよい喫茶店」と言われ評判です。「ボランティアさんの助言を得ながら試行錯誤しながら今の形ができました。まだまだこれからです。」と道田さんは話を結びました。



★雨の日は営業していません。

- ◆場 所: 小平市中島町3-8 あさやけ風の作業所2階テラス
- ◆電 話: 042-349-2366 FAX: 042-346-6609
- ◆営 業: 月・火・木・金 10:00～16:00 (夏時間 4月～10月)  
第3土 10:00～16:00 (夏時間 4月～10月)
- ◆http://www.asayake.or.jp

## ひらくはココにあります。

男女共同参画センター“ひらく”、公民館(11館)、図書館(11館)、地域センター(18館) 福祉会館、総合体育館、児童館、健康センター、市役所1F・2F、東部・西部出張所、郵便局(17か所) 市内各駅(7か所)、八坂駅、秋山駅、東大和市駅

- 小川町 多加茶、手作クッキーの店歩、商工会館、JA 東京むさし
- 小川西町 佐野商店
- 小川東町 ギャラリー青らんぎ、長江宴、フレッドファクトリー 510、カフェ Air
- 上水本町 アトリエ・パンセ
- 津田町 ハタエコンサーン
- 学園西町 ビューティーサロンサンローズ、百の豆木、梁里館、美容室ヘアグラッシュ、鈴木小児科、本間歯科  
ヘアサロンサンライズ、あかね薬局、床屋のけんちゃん
- 学園東町 日本堂文具店、梅の里、アクティブスタジオ、りそな銀行小平支店、グエン・パン・カフェ  
おだまき工房、カシユカシユ、きそ歯科クリニック、ふく歯科、寝具センター丸新  
ミサワホームイングー橋学園店
- 美園町 多摩済生病院、ラグラス、珈琲の香、POEM、永田珈琲、ルネこだいら、小平駅前クリニック、  
シャンブル、きらら事務所と広場
- 御幸町 ケアタウン小平
- 鈴木町 和菓子の玉川屋
- 回田町 ヴェルデ
- 天神町 公立昭和病院
- 大沼町 がすミュージアム
- 花小金井 上原薬局、風のシンフォニー、辰砂

## 編集後記

●これまで「ひらく」の編集に膨大な時間とハートを注いできました。ぎゅっと凝縮したものを印刷しています。わからないですよ。それで特集と聞き取り調査のモチネタを「ひらく裏版」としてまとめてみました。今度見てください。(5)

●縁、と一文字印刷された年賀状が九州から届いた。つながっていることを表す漢字を見て嬉しくなった。(6)

●どんなときもコミュニケーションは大事だ。こちらの気持ちが相手に届かないときは、待つ。辛抱強いのか、しつこいのか、わからなくなるときもある。(4)